

発言No.

8

受付No. 14

令和7年11月20日

9時29分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 18 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

(○をつける)

☒ 市長 ☒ 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、所信表明について

(1) 協働のまちづくりの推進について

- ①社会教育をまちづくりの土台とすると述べ、地域社会に関心を持ってもらうこと、社会教育の手法による人づくりを行う、まちづくりセンターが主体となる、担当課がサポートする、とあるが、どのようなことを考えていて、これまでとはどう変わるのか。
- ②「市民の皆さんと対話する仕組みを設ける」としているが、どのような仕組みを構想しているのか。
- ③自主防災組織の組織率を高めるとしているが、地区社会福祉協議会、消防団、まちづくり推進委員会など、どう地域が連携し、地域が一体となった自主防災組織強化の具体的な方策は何か。

(2) 浜田駅周辺エリアのグランドデザインについて

- ①浜田駅周辺エリアのグランドデザインの策定とあるが、これまで行われた石見神楽伝承内容検討専門委員会報告書、現在、議論されている基本構想検討委員会の結果をどう扱い、具体化するのか。

(3) 高齢者福祉の推進について

- ①住まい、医療、介護、予防、生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を目指すとしているが、体制整備はどこまで進み、残された課題は具体的にどのようなものがあるのか。

2、人口減少を食い止める政策について

- ①人口の減少数、減少率など、島根県は中国地方でどのような状況や位置にあり、浜田市は県内ではどのような状況や位置にあるのか。
- ②浜田市で地方創生を進めてきたが、人口減少を食い止める、出生数が増える、UIターンが進んだ、雇用が増えたなど、地方創生に叶う成果が上がったものはどのような事例があるのか。

- ③島根あさひ社会復帰促進センター、三隅火力発電所など市内にある企業について、単身赴任者の状況など実情を調査し、家族ともども浜田市に住んでもらうことを、会社に対し働きかけてはどうかと質問したが、その後の状況はどうなったのか。

3、観光入込客増に向けた施策について

- ①県においてDMO観光地域づくり法人を設立されたが、具体的にどのような事業を行い成果が上がったのか。
- ②令和8年3月には山陰自動車道が益田まで開通するが、これにあわせ観光入込客を増加させる具体的な計画や施策は立てているのか。
- ③ゆうひパーク浜田計画案の見直しはどう進めていて、今後の計画はどのようなになっているのか。

4、市民生活の状況について

- ①物価高の中、生活保護の相談、生活困窮者自立支援制度、あんしん生活相談窓口の相談件数などから、市民生活の状況はどのようなになっているのか。
- ②令和7年度物価高騰対策として様々事業化され予算化されているが、全体的な執行状況、関係先からの声などから事業をどう評価しているのか。
- ③ガソリン価格が高いがことについて、市としてその背景や要因などを調査し、関係先に、他市並みに引き下げをこれまで求めてきたのか。

—以上—